

一 般 質 問



市民協働に対する三重県の姿勢

よし の まさ ひで

芳野 正英 議員

新政みえ／四日市市選出



問

県は、これまで先進県として市民団体との連携に取り組んできましたが、議会での知事の発言では、市民協働についての言及がありません。三重県誕生150周年の記念事業の実施にあたっては、広く県民の皆さんと連携し、展開することが重要と考えます。知事の所感を伺います。

答

行政は広範な業務を展開しており、県民のための行政を展開するには、公務員だけでなく、企業や県民の皆さんの協力が必要です。県が歩んできた150年の中には、経済活動や市民活動等、さまざまな発展の形があるため、記念事業にはより多くの方の参加を求めることが大事です。また、今後の県の発展を考えると、若者に参加してもらうことも重要であるため、「主役は子どもたち」をキーワードに、若者の記念事業への参画を促していきます。

その他の質問事項

- 海蔵川の桜並木の保全について
- 高等学校の探究学習における企業等との連携について
- ほか



スマートフォンの社会的影響について

いし だ なり せ

石田 成生 議員

自由民主党／四日市市選出



問

スマートフォンの便利さに隠れた危険に気付かず、無自覚のうちに社会全体が依存症になる心配があります。その危険性を呼びかけるべき県がアプリを開発・利用促進することで、県民はスマートフォンを手放せなくなります。スマートフォンの利用について、中長期的な県の考えを伺います。

答

県では、デジタル化によって生まれる時間や心の余裕が自己実現や幸福実感の向上につながることを目指して、行政サービスの利用環境づくりに取り組んでいます。この考え方を踏まえ、きめ細かな行政サービスの提供手段の一つとして、スマートフォンの活用は不可欠です。より安心して行政サービスを利用いただけるよう、スマートフォンに対する負の側面にも配慮しつつ、使いやすく効果的なサービスを提供できるよう努めます。

その他の質問事項

- 三重県人材確保対策推進方針について
- 学校は何をすべきところかについて
- ほか



若者への性教育について

かわ ぐち みつあき

川口 円 議員

新政みえ／津市選出



問

令和6年度の20歳未満の人工妊娠中絶件数は、前年度より増加しました。性教育は究極の人権教育です。自分の命も相手の命も大切にするには、一人一人が正しい性の知識を持つことから始まり、それにより社会課題の多くを解決できると考えます。学校での性教育の取り組みを伺います。

答

学校では、心と体の距離感の個人差を認識する学習や、SNSで見えない相手とつながる危険性等についての学習を進めており、警察や助産院等から専門家を招くなど、地域の協力を得ている事例もあります。また、スクールカウンセラー等による相談体制の充実や相談機関の紹介も行っています。今後も、各校の取組事例の共有等により、子どもたちが性犯罪や性暴力の加害者、被害者、傍観者にならないよう「生命の安全教育」の充実を図ります。

その他の質問事項

- 防災対策について
- オーバードーズ（OD）による自殺対策について
- ほか



ツキノワグマの被害対策

まつ うら けい こ

松浦 慶子 議員

自由民主党／多気郡選出



問

全国的にクマの出没や被害が増加しており、人身被害の危険性が高まっています。県ではツキノワグマ管理計画の策定が進められていますが、県民の被害防止に向けて、今後どのように取り組むのか、県の考えをお聞きます。

答

県では、クマアラートによる注意喚起や、鳥獣保護管理員等による定期的なパトロールを行っています。また、緊急銃猟によるクマの駆除を想定した机上訓練を県内7地域で行った他、出没場所に近づいた際にアラートを受け取ることができるアプリの運用も開始しました。12月に策定予定の「三重県ツキノワグマ管理計画」に基づき、被害防止対策の強化や、出没防止に向けた緩衝帯の整備等に国のパッケージを活用しながら取り組みます。

その他の質問事項

- 森林整備について
- みえ子ども・子育て応援総合補助金について
- ほか



2035年国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会に向けて

いな がき あき よし

稲垣 昭義 議員

新政みえ／四日市市選出



問

本県では、2035年に国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会の開催が予定されていますが、機運が高まっているとは言えません。中止となった三重とこわか国体・三重とこわか大会以降のスポーツ振興の発展に、機運醸成と具体的な目標設定が必要と考えます。県の考えを伺います。

答

2035年の国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会は、2030年頃に開催が内定すると想定しています。2035年までに、どのように県民の皆さんに周知し、機運を盛り上げていくかは、時期も含めて検討したいと思います。また、目標設定については、現在、日本スポーツ協会で、総合成績の意義や在り方等についての見直し議論がされていますので、その動向を踏まえつつ、10年後の大会開催を見据え、検討していきたいと考えています。

その他の質問事項

- 不登校対策について
- 萬古陶磁器産業の振興について
- ほか



堆積土砂撤去の進捗および次期5カ年の目標について

いし がき とも や

石垣 智矢 議員

自由民主党／いなべ市・員弁郡選出



問

線状降水帯や局地的豪雨の発生が増える中、河川の安全確保は県民の命を守る上で喫緊の課題です。特に、氾濫リスクを高める堆積土砂は、計画的かつ継続的な撤去が不可欠です。令和7年度までの堆積土砂撤去の進捗の評価と、令和8年度以降の撤去の方向性について、県の考えを伺います。

答

堆積土砂撤去に集中的に取り組んできた結果、撤去前に比べ、水害発生リスクが軽減しています。令和7年9月の県北部での記録的大雨では、撤去前と比べ、員弁川では約10cm、海蔵川では約20cmの水位低減効果を発揮しました。現在、令和8年度からの5カ年における新たな目標を検討しています。緊急浚渫推進事業の制度拡充により、新たに対象に加わった農業用排水路の管理者とも連携し、引き続き、堆積土砂撤去を推進します。

その他の質問事項

- 観光プロモーション戦略について
- 小中学校の統廃合・移転等による通学路の安全対策について
- ほか